

医療費適正化の推進を！

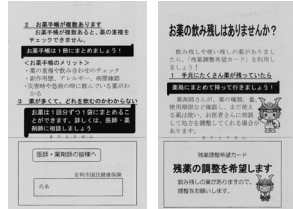


大谷 弥生 議員

【問】 平成25年に薬剤師法が改正され、服薬指導が義務化された。医療費の適正化に向け、適正服薬を促すために薬剤師会とどのように連携しているのか。

【生活環境部長】 薬剤師会には地域ケア会議

等で御意見をいただくほか、講座の講師などをお願いしている。また、薬の飲み残しが問題となっていることから、これを減らすことは本人の健康管理のみならず、医療費適正化の観点からも非常に重要であるため、残薬調整希望カードの作成に当たり、助言等いただいている。



▲残薬調整希望カード

◆教育施策の充実と情報発信

【問】 平成28年度に実施された全国学力・学習状況調査において、栃木県の小学生は全ての教科で正答率が全国平均以下であった。この現状を打開するため、どのような策を講じるのか聞きたい。

【教育長】 子供たちには何よりもわかる

授業が求められることから、教員の授業力向上の取り組みを進める。もっと学びたいという子供たちの願いをかなえるため、平成29年度から学校の放課後学習への支援なども含め、総称「かなふり松プロジェクト」を開始する。

さらなる夜景観光推進のため渡良瀬橋のライトアップを！



末吉 利啓 議員

【問】 ことし10月、夜景サミットが本市で開催される。新たな夜景観光資源として渡良瀬橋のライトアップを検討すべきと考えるがどうか。

【産業観光部長】 平成29年度は国の地方創

生推進交付金を活用し、夜景観光開発事業を実施する予定である。渡良瀬橋もライトアップにより違った目線で素材が生かされ、付加価値を高めることができると思われることから、照明の設置について関係機関と連携し、検討していく。



▲渡良瀬橋

◆渋滞対策

【問】 新駅設置だけでは抜本的な渋滞解消につながらない。新駅設置による渋滞緩和をより効果的に推進するため、パーク・アンド・バスライド方式もあわせて検討すべきではないか。

【市長】 交通渋滞の緩和にはさまざま

な方策を体系的に実施する必要がある、同方式もその一つと考えられる。日光市でも効果があったと聞いているが、実施には広大な駐車場の確保や円滑なバス運行のための規制などの課題があることから、県や関係機関と協議を進めながら、交通渋滞の対策について議論を深めていく。

消防団員確保の取り組みについて問う！



須田 瑞穂 議員

【問】 消防団では、団員の確保に苦慮している分団もある。団員確保のため、新たな取り組みも必要であると考えられているがどうか。

【消防長】 必要な消防団員

を確保し、地域防災体制の充実を図るため、新たな取り組みとして、市内の飲食店や小売店などにご協力いただき、団員が食事や買い物をしたときに優遇を受けられる「消防団サポート事業」等の導入を検討している。今以上に魅力のある消防団にしていきたい。



◆人材の育成と活用

【問】 市民力を発揮するためには、物事を調整するようなコーディネーターの役割を果たす「参加・協働型」職員が存在が力ギとなる。職員の人材育成について、現在どのような取り組みを行っているのか。

【総務部長】 職員がコーディネーターと

しての役割を担い、市民と手を携えてまちづくりを進めていく、まさに本市が目指しているまちづくりの形だと考えている。そういった意識を醸成させるため地域づくり実践研修や、地域防災研修などを実施し、職員が地域の市民活動に参加する動機づけを行っているところである。